

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、
2. (1)所属部門・所属講座、(2)勤務地、
3. 専門分野、
4. 職務内容・担当科目、
5. (1)着任時期、(2)任期、
6. 応募資格、
7. 提出書類、
8. 応募締切・受付期間、
9. (1)提出先、(2)問合せ先、
10. 応募上の注意、
11. その他（待遇など）

### 東京工業大学理学部物理学科教員

1. 助教授 1名
2. (1)物理学科
3. 宇宙理論
5. (1)決定後なるべく早い時期
7. ○履歴書 ○論文リスト ○主要論文別刷りまたはコピー ○これまでの研究概要ならびにこれからの研究計画 ○意見を求め得る研究者2名以上の方の氏名・所属・連絡先・電話番号（応募の場合）、または推薦書（推薦の場合）
8. 1994年4月15日 必着
9. (1)、(2)〒152 東京都目黒区大岡山1-12-1  
東京工業大学理学部物理学科  
原子核物理学第一講座 助教授選考委員会  
委員長 細谷暁夫  
電話 03-3726-1111（内線）2463
10. 封筒に「理学部物理学科助教授応募（推薦）書類」と朱書きし、簡易書留にて送付のこと。

### 宇宙科学研究所教員

1. 助教授 1名
2. 宇宙圏研究系：高エネルギー天体物理学第一部門  
飛翔体を用いた、高エネルギー放射線（X線ガンマ線等）の観測による天体物理学の研究、及び測定技術の開発。  
同研究系には、現在、高エネルギー天体物理学第一、第二、第三各部門及び赤外線天体物理学部門があります。高エネルギー天体物理学第二、第三部門と緊密に協力しつつ研究を主導すると共に、大学共同利用機関としての本研究所の任務を充分理解し、当該分野の科学衛星計画その他共同利用プログラムを担当して、その遂行に責任ある役割を果たす方を希望します。尚、当該部門には教授・小川原嘉明、助手・満田和久、石田学が在職しています。
5. (1)決定後、平成6年度内のなるべく早い着任を希望

7. ①略歴 ②研究歴 ③論文リスト及び主要論文別刷り  
④研究計画（自薦の場合のみ） ⑤他薦の場合：推薦書2通。自薦の場合：本人について意見を述べられる者2名の氏名、連絡先。
8. 平成6年3月31日(木) 必着
9. (1)〒229 神奈川県相模原市由野台3-1-1  
宇宙科学研究所管理部庶務課人事係  
電話（代表）0427（51）3911  
(2) 宇宙圏研究系主幹 榎野 文命 内線2621
10. 選考は、宇宙科学研究所運営協議員会議に於て行います。応募者に適任がない場合、決定を保留することがあります。  
封筒の表に「助教授応募（推薦）書類在中」と朱で明記して下さい。

### 筑波大学物理学系教員

1. 講師または助手 1名
2. 物理学系
3. 宇宙物理学（理論、観測を問わない）
5. (1)1994年4月1日以降のできるだけ早い時期
6. 大学院修士課程終了もしくはそれと同等以上の方
7. ○履歴書 ○論文リスト ○主要論文3編以内の別刷り（2部） ○これまでの研究の概要と今後の抱負 ○2名の方からの意見書
8. 1994年2月28日(土) 必着
9. (1)〒305 茨城県つくば市天王台1-1-1  
筑波大学物理学系学系系長 谷津 潔  
(2)同物理学系/計算物理学研究センター  
岩崎洋一 電話0298-53-4289
10. 封筒に「物理学系助手応募種類在中」と朱書きし、書留で送付のこと。

## 研究会・集会案内

### 「21世紀への宇宙物理学」シンポジウム

#### 第1回「天体物理学における輻射輸送過程」

筑波大学計算物理学研究センター主催の標記研究会を下記の日程で開催致します。内容は

1. 電波、赤外、光学、X線等の観測における輻射輸送問題
2. 恒星構造論、星・惑星系形成、超新星、X線連星、QSO/AGN、銀河形成、銀河団、宇宙大規模構造、宇宙背景放射における輻射輸送過程。
3. 輻射輸送方程式、ボルツマン方程式の数値解法と専用計算機及びスーパーコンピュータを予定している

す。関心をお持ちの方の参加をお待ちしております。

日時：1994年3月1日(火)午後1時より

3月3日(木)午後0時まで

場所：筑波大学大学会館国際会議室

問合せ先：梅村雅之

筑波大学物理学系/計算物理学研究センター

〒305 つくば市天王台1-1-1

Tel: 0298-53-6930 Fax: 0298-53-4492

Email: mumemura@ph.tsukuba.ac.jp

## 「MHD不安定、リコネクション、ダイナモ」研究会案内

——実験室、磁気圏、天体プラズマにおける磁気

爆発現象と磁気構造形成の謎をさぐる——

日時 1994年2月2日(水) 10:30 より

1994年2月4日(金) 15:30 まで

場所 国立天文台・三鷹・講義室

さまざまな天体に見られる活動的な磁気流体現象の理解を深めるために、総合報告(レビュー)を中心とする研究会を企画しました。天体磁気現象の観測や理論の最近の発展についてだけでなく、実験室プラズマや磁気圏プラズマについても専門家による講演が予定されています。磁気流体不安定性、リコネクション、ダイナモ、構造形成といった実験室、磁気圏、天体で共通した現象について、異なった分野の専門家間で情報交換ができると期待しています。関心のあるかたの参加を歓迎いたします。主な話題：最新の実験と観測(「ジオテイル」,「ようこう」など)、MHD不安定、磁気リコネクション(基礎理論、ジェット、プラズモイド、粒子加速)、MHD乱流、自己組織化、ダイナモ、など。

世話人 花輪知幸, 寺沢敏夫, 柴田一成

連絡先 464-01 名古屋市千種区不老町名古屋大学理学部物理A研

花輪知幸 電話 052-781-5111 内線 6693

FAX 052-782-0647

E-mail: hanawa@a.phys.nagoya-u.ac.jp

## 天文普及のための指導者講習会

今回で5回目となる講習会を1994年3月22日(火)~23日(水)に開催いたします。申し込みたい方は、返信用の定型郵便封筒に80円切手を貼って、ご自分の住所、氏名を書いた封筒を入れて下記へ申し込んで下さい。

宛先：〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

天文情報普及室指導者講習会係

## 春季年会の開催と講演の申し込みについて

春季年会は大阪府吹田市市民会館で5月17日(火)から5月19日(木)までの3日間開催の予定です。講演発表は3会場併行して行う予定で、プログラムは4月20日発行の天文月報5月号に掲載されます。今回から年会実行委員会を発足させ、会員の方々に魅力ある年会になるよう更に努力する所存です。その一環として今までと少々年会講演のシステムが変更になりますのでご注意下さい。

講演の申し込みは「〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1 日本天文学会年会係」あてに封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上3月10日(木)までに必着するよう本号挟み込みの1994年春季年会講演予稿用紙を用いてお送り下さい。従来の用紙では受け付けません(予稿用紙が不足の場合は学会事務室までご請求ください)。

講演は、「口頭発表」と「ポスター発表」にて行います。講演申込みの際「口頭発表」あるいは「ポスター発表」の希望をして下さい。双方の発表方法の充実を図るため、口頭発表の講演時間は討論を含めて15分を確保することにし、ポスター発表はポスター・ディスカッションの時間を充実致します。このため、プログラム編成時に各セッションの座長を決定することとし、座長の協力も得て実行委員会の責任において、**申込み時希望の発表形式とは異なる発表形式に変更して戴く場合がございますので予めご了承下さい。**例年の講演数から推定すると、約半数の方にポスター講演をお願いすることになります。ポスター講演は期日を指定して発表を行うことが予想されます。講演申込みをされた方は、5月号掲載のプログラムにて各自の講演方法並びに日時の確認をお願い致します。会員以外の方には別途ご連絡致しますので**必ず宛先を明記**して下さい。

post-deadline papersも受け付けます。勿論これは、単に講演の締切日に間に合わなかったものではなく、IAU Circularに掲載されるような緊急性・トピックス性に富んだものに限定し、**年会直前(5月16日(月))まで**受け付けます。

今回から全ての講演の申込みには講演登録料が必要になりますのでお支払い下さい。ただし、特別会員の方は講演登録料が免除となっています(次頁次項「会費および春季年会関連の申込と経費納入手続きのご案内」参照のこと)。

講演分野の分類も多少変更があり、以下の通りです。申込み用紙の裏面も参照の上、ご記入下さい。

位置天文学 天体力学 太陽系 太陽

恒星 星間現象 銀河・銀河団 宇宙論

観測機器・情報処理 ASCA その他

今まで申込みの極端に少なかった「われわれの銀河系」

を廃止しました。今回は特に飛翔1年を経過して成果を挙げつつある天文衛星「あすか」のセッションを設けてありますので、関連する研究はこの分野をご選択下さい。

なお申込みの分野の分類に続けて、プログラム編成のため、内容を最もよく表すキーワードをご記入下さい(例:恒星(内部振動)のように)。

講演申込者で年会出席旅費の補助を希望される会員は支部理事を通じて3月10日(木)までに必着するよう「国立天文台内 日本天文学会 理事長」あてに申し込んで下さい。但し申込みのできる人は、1993年度会費納入済みの人で、原則として、連名の場合でも筆頭講演者であり、正式の給与を受けていない特別会員学生会費納入者に限ります。

講演申込み・発表に際しては特に次の事項を厳守して下さい。

1. 講演内容は完成度の高い研究とする。
2. 連名の場合、発表者を講演著者の筆頭におく。
3. 講演発表者は口頭・ポスター発表を合わせて、1人1回に限る。
4. 口頭発表においては、ビラは使用禁止、スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターを使用すること。
5. ビデオプロジェクターの使用を希望される方は年会申込み期限までに連絡すること。
6. 関連経費もなるべく同時に申込・払込ください(本ページ次項の「会費および春季年会関連の申込と経費納入のご案内」をご覧ください)。

年会は、主として会員の研究発表や情報交換等を通じて天文学の発展に寄与するものです。未入会の方で講演を希望される方には、申込みの際に会員登録をされるようお勧めしております。

年会中に集会のため、会議室の利用を希望される方は前もって、大阪大学理学部 常深 博(電子メール: tsunemi@oskar.kek.ac.jp, 電話番号: 06-844-1151 内線4137)までご連絡下さい。

(年会実行委員会)

## 会費および春季年会関連の申込と経費納入手続きのご案内

学会費などの改訂に伴って、払込み方法も変更になりました。今回は事務手続きの都合から会費と春季年会関係の負担金のみをまとめた扱いとなりました(注1)。以下の説明を良くお読みになったうえで、間違いのないようご納入下さい。なお、不明な点は遠慮なく学会事務室ないし庶務理事・会計理事までお問合せ下さい(以下で「送付」というのは、学会事務室までご持参いただく場合を含みます)。

## 1. 金額

会員種別	特別会員	特別(学生)	通常会員	会員外
会費(1年分)	18,000円	13,000円	8,000円	—
春季年会参加費	3,500円 ※3,000円	1,800円 ※1,500円	3,500円 ※3,000円	4,000円
春季年会講演登録料	0円	0円	3,000円	5,000円
春季年会予稿集代	2,000円 ※1,800円	2,000円 ※1,800円	2,000円 ※1,800円	2,000円

- 1) 銀行口座自動引落の登録が完了しており、2月21日までに以下に示す方法で申込んだ項目に限り、※印の料金を割り引きます(自動引落の場合の早期申込割引)。
- 2) 春季年会に出席なさる方は春季年会参加費が必要です。
- 3) 春季年会にて講演なさる方は、参加費のほかに、さらに春季年会講演登録料が必要です(特別会員は不要)。
- 4) 春季年会予稿集代は今回より特別会員会費に含まれていません。必要な方は以下の方法で別途お申込み下さい。
- 5) 秋季年会関連については、改めてお知らせいたします。

## 2. 申込方法

**2-1. 会費のみの場合：申込用紙を送付する必要はありません。** 会費のみ払込んで頂ければ結構です。銀行口座自動引落の場合は登録手続きが完了していれば、何もしなくて結構です。ただし、たとえ申込用紙を送付された場合でも領収証は発行しません。

**2-2. 春季年会関係で必要な申込をする場合：必要な金額を3.の方法に従って払込まれるとともに、本誌挾込みの申込用紙(はがき)にご記入の上、学会事務室までご送付ください。** 講演予稿集原稿に同封していただいても結構です。また、申込用紙をコピーしたもので結構です。折返し学会事務室より領収証をお送りします。申込用紙を送付されないと、たとえ払込みをなされても、会費以外は払込まれていないものと見なされる場合がありますので、ご注意ください。これは、銀行口座自動引落の場合でも同様です。

記入上の注意は以下の通りです。

- (1) 払込み方法として選択したものの□に印をつけて下さい。
- (2) 申込みたい項目の□に印をつけ、(寄付金と)合計金額を記入してください。2つ以上の項目を希望する場合は、全ての項目分を1回で払込まれても、項目毎に毎回申込みれても結構です。ただし、後者の場合は払込の都度、その際に申込み項目のみに印を付けた申込用紙をご送付ください。1つの項目の分割払いはでき

ません。

(3) 申込用紙の裏面にご自身の住所・氏名をご記入下さい。

(4) 出席を取消された場合の年会参加費など、申込者の都合による変更の場合は、いっさい払戻いたしません。

### 3. 払込み方法

銀行口座自動引落、郵便振替、銀行振込、現金書留、現金持参の5通りの方法で払込みができます。学会費以外にも払込みをする場合は、必ず、2.の注意に従って申込用紙を学会事務室までご送付ください。

(1) 銀行口座自動引落：登録が済んでいる場合は、申込用紙をお送りくださるだけで、後は学会側で自動的に引落とします。引落人は「JCB フリカエ」「JCB ローン」など(銀行によって異なる)となり、4月11日に引落とされます。まだ登録をなさっていない場合は、天文月報1994年1月号46ページの案内に従って、登録申込用紙を学会事務室までご請求下さい(今回の払込み分についての登録は2月21日締切)。

(2) 郵便振替：本号扱込みの振替用紙をご利用ください。口座番号 東京6-13595 社団法人 日本天文学会

(3) 銀行振込：口座番号 三菱銀行三鷹支店  
普通預金口座 4434400 社団法人 日本天文学会

(4) 現金書留：学会事務室(下記)までお送りください。  
東京都三鷹市大沢2-21-1 日本天文学会

(5) 現金持参：締切前に学会事務室までご持参ください。この場合も、申込用紙はお忘れなく、年会参加費・講演登録料・予稿集代のみは年会当日会場でも受け付けます。

なお、賛助会員は従来通りの払込み方法で結構です。

### 4. 締切

会費は3月31日までに払込んでください。ただし、年会参加費・講演登録料・予稿集代は原則として2月21日(注2)が締切です(申込・払込とも)。それ以降は、年会当日会場で直接お申込みの上、お支払いください(支払が当日の場合でも3月10日までは講演申込は受け付けます)。予稿集は会場では売切が予想されますので、それ以前に申込みれますよう強くお勧めします。また、春季年会予稿集は2月21日までに申込まれた場合は学会事務室より4月末頃にお手元へ送付いたします(送料は学会で負担)。それ以降は年会当日会場でお求めください。注1) 秋季年会分との一括払いと、自動引落以外の支払方法の場合の早期申込割引については、引続き検討中です。

注2) 予稿原稿締切日とは異なります、ご注意ください。

(会計理事・庶務理事)

## 研究助成案内

### 三菱財団自然科学研究助成公募

標記公募が天文学会宛に届いておりますので概要をお知らせします。

#### 1 重点対象分野

- (1) 実験方法の開発・改良に関する研究
- (2) 工学における境界分野の基礎研究
- (3) 新しい工学的システムとデバイスの基礎研究
- (4) 宇宙・地球規模の環境に関する基礎研究
- (5) 新物質、新材料の作製と物性に関する基礎研究
- (6) 生物活性物質・生体機能物質の基礎研究
- (7) 発生系における分化と遺伝子発現の制御に関する研究

#### 2 応募締切日

平成6年3月2日(火) 必着

#### 3 申込書送付先

財団法人 三菱財団

〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号

(三菱ビルディング15階)

電話 東京(03) 3214-5754

### アサヒ・フェローシップ(朝日国際奨励金)の公募

外国国籍をもつ、将来性ある学者、芸術家、ジャーナリストらに日本国内での研究活動の機会を与えることで、日本理解を深めてもらい、併せて人と人との交流により国際間の協調に寄与する。

原則として当年の9月から1年間、採用者数は2～4人を予定しています。

応募締め切りは1994年分については2月28日までの到着分とする。

問い合わせ先：〒104-11 東京都中央区築地5-3-2

朝日新聞社文化企画局企画第二部

アサヒ・フェローシップ事務局

電話 03-3545-0131 内 54213

FAX 03-3543-3280

担当者 八巻・井上